



### 科学交流合宿研修会

7月22日(火)・23日(水)に1年生希望者2名が1泊2日で、武庫川女子大学において第7回科学交流合宿研修会に参加してきました。本校からは1年生女子2名が参加しました。初日は全体会の後、各班に分かれて、大学の実験実習を行い、まとめと発表の準備を行いました。2日目は、前日の実験実習のプレゼンテーションと武庫川女子大学附属高等学校の生徒とALTの進行のもと、英語での意見交換を行いました。

#### ～生徒感想～

サイエンスキャンプに参加し、ここでしかできない体験ばかりでした。1日目には、それぞれの大学に分かれてグループを組み、実験を行いました。他校の生徒とは初対面にもかかわらず、すぐに打ち解けて、良い雰囲気のもと実験に取り組みました。その実験結果を次の日のプレゼンテーション発表に向けて、夜遅くまで班で入念に準備しました。深夜までの作業でしたが、どの班も協力していました。英語でのディスカッション等、困難な部分もありましたが、先生も親切に教えてくださり、楽しかったです。この経験を活かしたいです。



### 日本哺乳類学会 2014 年度大会中高生ポスター発表

9月7日(日)に2年生課題研究の生物班5名が、京都大学で開催された日本哺乳類学会の中高生ポスター部門に参加してきました。ポスター発表の題目は、「新舞子干潟における貝の分布と土壌との関係性」です。

午前中の10時～12時に設定されていたコアタイムのうち、本校生物班は、後半の1時間、興味を持たれた方々に対して発表、質疑応答等を行いました。大学の先生や他校の生徒、大学生等普段交流できない人々と言葉を交わし、研究の内容について深く考える良い機会となりました。

午後からは、公開シンポジウムに参加し、野生動物と農村の人々との関係、世界中のモグラ、サルの社会構造の3つのテーマに関して興味深い話を聞くことができました。生徒たちにとって大変良い機会となりました。

#### ～生徒感想①～

自分たちの発表からだけでなく、他の団体のポスターをみることで、研究のまとめ方や発表する際の注意点なども分かってきました。

今回の機会は貴重な経験となったので、次回の発表する場では、さらに考察をして、より良いものにしていきたいです。

#### ～生徒感想②～

僕たちは、干潟班として、新舞子干潟について研究を重ねてきました。その発表のためのポスターを完成させるのに、放課後夜遅くまで準備をしました。自分たちの発表の時には、1対1で、話をする形でした。うまくいかない部分もありましたが、相手の方からアドバイスをいただき、これからの課題研究に活かされるいい機会となったと思います。

#### ～生徒感想③～

私たちは、新舞子の干潟の生態と土壌の関係を調査しています。干潟にある貝の個数と土壌についての調査はまだ足りていません。貝の個数は50×50cmの枠内を掘り、オキジミとソトオリガイの2種を調べました。ソトオリガイは、ある特定の範囲に集まっていて、個体数に差が出ていました。これが土壌によるものなのか、今後調べて、また発表したいです。

